

会誌「応用生態工学」編集報告

2005年9月2日現在

1) 会誌発行状況

- 1 巻1号:平成10年11月30日発行
 2 巻1号:平成11年5月31日発行 特集「河川の自然復元」
 2 巻2号:平成11年11月19日発行 特集「ダム構造物の影響」
 3 巻1号:平成12年7月21日発行 特集「日本の沿岸環境保全」
 3 巻2号:平成12年12月21日発行 特集「魚道の機能評価」
 4 巻1号:平成13年7月17日発行 ミニ特集「健全な河川とは?」
 4 巻2号:平成13年12月27日発行
 5 巻1号:平成14年8月10日発行 特集「長良川河口堰の影響に関するモニタリング評価」
 5 巻2号:平成15年2月28日発行 特集「河川環境の保全と復元」
 6 巻1号:平成15年8月31日発行 特集「東アジア太平洋地域の河川復元に向けて」
 6 巻2号:平成16年3月31日発行 小特集「河川・都市における外来種問題とその対策」

- 7 巻1号:平成16年8月30日発行
 7 巻2号:平成17年1月30日発行 特集「標津川再生事業の概要と再蛇行化実験の評価」
 ・ 7 巻1号内容
 掲載論文数 10本(105頁) (原著5、事例研究2、短報1、意見2)
 ・ 7 巻2号内容
 掲載論文数 10本(101頁) (原著5、事例研究2、総説1、序文1、意見1)

- 8 巻1号:平成17年8月8日発行 特集「森・川・海の自然連鎖系を重視した有明海・八代海の再生」
 ・ 8 巻1号内容
 掲載論文数 7本(110頁) (原著2、事例研究1、総説4、その他書評3、トピックス1)
 8 巻2号 (予定)
 特集「野生生物の生息適地推定と保全計画」(仮題)
 特集担当編集委員: 鎌田磨人
 以降の予定
 特集「実用を目的とした水域の生態モデルとその実用化の現状と今後の展望」(仮題)
 特集担当編集委員: 浅枝 隆

2) 論文投稿状況(2005年8月31日現在)

年	総数	受理数	却下数	校閲中数	(英文,和文)
1998	19	18	1	0	(1,17)
1999	25	24	1	0	(2,22)
2000	34	30	2	0	(0,34)
2001	34	27	7	0	(2,32)
2002	24	17	7	0	(6,18)
2003	27	21	6	0	(4,23)
2004	25	22	2	1	(2,18)
2005	28	5	3	19	(1,27)

(注:却下数にはc判定で未投稿を含む)

3) その他編集委員会報告

- 投稿規程の改訂
 - 新投稿規程は8巻1号に掲載
 - 改訂のポイント
 - 2005/7/20(ニュースレター30号掲載)
 - 報文種類にトピックスを加えた。
 - その他連動して校閲規程等を改訂(2005/9/10 理事会承認)
 - 改訂後の規程は添付資料に掲載